

北マリアナ諸島海外安全対策情報
平成 29 年度第 4 四半期（1 月～3 月）

1 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題もなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られない。一般的に対日感情は良好である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当事務所が新聞報道等により把握している管轄地域内の当四半期における犯罪種類別の発生状況（件数）は、殺人（0 件）、強盗（0 件）、暴行・傷害（11 件）、性犯罪（3 件）、詐欺（1 件）、麻薬（3 件）、侵入窃盗（2 件）、窃盗（ひったくり、置き引き、車上狙い等を含む）（5 件）である。観光客を狙った窃盗犯罪等が引き続き発生しているため、観光地やビーチ等を訪れる際は所持品の取扱いに十分注意を払うことが肝要である。

最近の主な犯罪事例は次のとおり。

- 12 月 11 日、サイパン島北部パウパウビーチにて、中国人旅行客カップルがカバンを木にかけて写真撮影をしている際、現金 1,000 ドル、6,000 人民元（924 ドル相当）、フェラガモの財布などの入ったカバンを何者かに盗まれた。目撃者情報から犯人は後日逮捕された。
- 2 月 19 日午後 8 時頃、サイパン島北部マッピ地区にあるバンザイクリフにて、駐車中のツアーガイドの車両から何者かが財布を盗んだ。車内ダッシュボードに設置されていたビデオカメラの映像から犯人は後日逮捕された。
- 3 月 8 日、サイパン島南部サンアントニオ地区にあるパシフィック・アイランド・クラブ（ホテル）にて、未成年の少年が男性に対し、駐車車両に侵入し、金品を得ようと提案したが、1 台を除き全車両施錠されていたため、車両からは何ら盗みを犯さなかった。その後、ホテルの裏手に回り、オフィスのロッカーを物色し、スマホ 2 台を盗んだ。防犯カメラの映像から犯人は後日逮捕された。
- 3 月 15 日午前 4 時頃、サイパン島中部ガラパン地区にて、不審者がリュックサックを背負い行ったり来たりしていると通報があり、警察官が駆けつけたところ容疑者が裏通りへ逃走し、リュックサックを放り投げた。警察官が容疑者を取り押さえ、リュックサックの中身を確認しようとしたところ、煙が出てきた為、消防・緊急医療サービス省が到着するまで非常線が張られた。容疑者はメタンフェタミン「アイス」を製造する為の化学薬品を所持していた容疑で逮捕された。また、同事件現場付近に不審なカバンがあると通報があり、駆けつけた警察官らが中身を確認しようとしたところ、警察官 4 名が吐き気・めまいを訴え病院へ搬送された。
- 昨年 11 月以降本年 3 月までの計 3 回に亘り、サイパン中部ガラパン地区にある免税店「T ギャラリー」にて、女性 2 人と少年 1 人が総額 2,000 ドル以上相当のバッグや財布を盗んだ。防犯カメラの映像を SNS 上で公開すると同時に、警察等が情報提供を呼びかけている。

- 3 テロ・爆弾事件発生状況
情報には接していない。
- 4 誘拐・脅迫事件発生情報
情報には接していない。
- 5 日本企業の安全にかかわる諸問題
特になし。